

## 2. 北海道の社会資本整備

### (1) 5つの重点事項

#### I 防災・減災、国土強靱化



- 気候変動の影響などに伴う水害・土砂災害等の激甚化・頻発化に備えるため、河川の流域に関わるあらゆる関係者が参画し、流域全体で防災・減災に取り組む「流域治水」を推進します。
- 災害時の避難や救急救援活動、応急復旧などに必要な緊急輸送道路・避難路の整備を進めるとともに、道路施設の防災対策の計画的な実施や適切な維持管理、暴風雪時における道路管理体制の強化、適切な除雪体制の確保などにより、強靱な道路ネットワークを構築します。
- 地震による建築物の倒壊や下水道施設などのライフラインの損壊に伴う人的・物的被害の発生を防止するため、住宅や多数の方が利用する建築物、ライフラインの耐震化を促進します。

#### II インフラメンテナンス



- 高度経済成長期に集中して整備された多くの社会資本が、今後、一斉に更新時期を迎えることから、産業活動や道民の暮らしに必要なインフラ機能が適切に確保されるよう、施設の定期的な点検・診断結果に基づく計画的な修繕や更新といったメンテナンスサイクルの構築、予防保全の考え方を導入した「北海道インフラ長寿命化計画（行動計画）」に基づく老朽化対策の実施などにより、社会資本の効率的・効果的な維持管理・更新を推進します。
- 道路施設や治水・砂防・海岸保全施設など防災上も重要な社会資本の点検やパトロール、適切な維持管理を推進します。

#### III 持続可能な社会・経済の形成



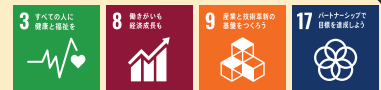
- 国内外との人流・物流の効果を全道に波及させるため、高規格道路の整備による物流効率化に向けた基盤を強化するなど、道内交通体系の充実・強化を図ります。
- 交通事故死ゼロをめざすため、安全・円滑な道路交通環境の整備などを進めます。
- 生活環境や生態系の保全、水源涵養や二酸化炭素吸収などの機能を有する湿原の保全など、生態系や景観に配慮した川づくりやまちづくりに取り組みます。
- 子育てに配慮した公営住宅や公園の整備など、子育て支援の充実を図ります。
- 日常生活に必要な不可欠な生活交通の確保など、安心して暮らしていくために必要な取組を進めるとともに、持続可能で質の高い暮らしをめざし、まちなか居住の促進やまちに必要な機能の集約、街並み・景観への配慮、脱炭素化、エネルギーの地産地消、資源の域内循環などの取組と連携したまちづくりを進めます。

## IV ゼロカーボン北海道の実現



- ・ゼロカーボン北海道の実現を目指し、太陽光、風力、水力、バイオマスなどの本道の豊富な再生可能エネルギーの導入を拡大するとともに、快適性・健康性の向上、防災・減災性能の向上にもつながるZEB、ZEHの普及など建築物の脱炭素化を促進します。
- ・コンパクトなまちづくり、インフラ分野の省エネ化、環境負荷の少ない交通・物流体系の整備のほか、次世代自動車に対応したインフラ環境の整備を推進します。
- ・社会資本の計画・設計、施工等の各段階における脱炭素化に取り組みます。
- ・二酸化炭素吸収量の確保に向けて、沿岸域におけるブルーカーボンの創出を推進します。
- ・建築物等での炭素の固定や化石燃料の代替による二酸化炭素の排出抑制に向けて、道産木材の利用や木質バイオマスのエネルギー利用を促進します。
- ・流域治水の推進による防災・減災対策など、気候変動の影響への対応策を推進します。
- ・都市公園、街路樹等の整備など都市の緑地の保全や都市緑化を推進や、都市近郊の緑地の保全、水辺の再生などによる水と緑のネットワークを創出します。

## V 北海道Society5.0の実現



- ・建設産業の担い手不足への対応や労働環境の改善を図るため、建設生産プロセスでICTや3次元データ等の活用を進めるデジタル・トランスフォーメーション（DX）やi-Constructionなど建設現場の生産性向上を図るための取組を推進します。
- ・大規模な災害の発生時に備え、各種計測機器やドローンによる画像などのデータを蓄積し、解析することにより、災害による被害の軽減を図るとともに、早期の復旧・復興に向けた取組を推進します。

### 【中央要請の実施】

北海道における社会資本整備の推進に向け、毎年、中央省庁や道選出国会議員などへの要望を実施しています。

#### ■財務省



<要望先>  
財務大臣 鈴木俊一

<要望者>  
北海道知事  
北海道議会建設委員長（北海道道路利用者会議会長）  
北海道道路利用者会議副会長（札幌市長）  
北海道道路整備促進協会会長（今金町長）  
北海道治水砂防海岸事業促進同盟副会長（島牧村長）  
北海道建設部長

鈴木 直道  
千葉 英也  
秋元 克広  
外崎 秀人  
藤澤 克  
北谷 啓幸

（令和4年11月）

#### ■国土交通省



<要望先>  
国土交通大臣 齊藤鉄夫

<要望者>  
北海道知事  
北海道議会建設委員長（北海道道路利用者会議会長）  
北海道道路利用者会議副会長（札幌市長）  
北海道道路整備促進協会会長（今金町長）  
北海道治水砂防海岸事業促進同盟副会長（島牧村長）  
北海道建設部長

鈴木 直道  
千葉 英也  
秋元 克広  
外崎 秀人  
藤澤 克  
北谷 啓幸

（令和4年11月）

## (2)北海道の社会資本

私たちの生活に欠くことのできない道路や上下水道などの社会的施設を社会資本とします。「新・ほっかいどう社会資本整備の重点化方針」には私たちの生活や産業を支える様々な社会資本が記載されていますが、このうち、建設部では道路や治水施設、都市公園、公営住宅などを整備・維持管理しています。

また、これらに加え、建設管理部では、空港、漁港の整備なども行っています。

### ■社会資本の基盤別分類（建設部が所管する施設は赤字）

|            |                                     |
|------------|-------------------------------------|
| 生活基盤       | 都市公園、上下水道、公営住宅、送電施設など               |
| 保健・医療・福祉基盤 | 医療施設、保育所、社会福祉施設など                   |
| 農林水産基盤     | 農地、農業用施設、漁港、漁場、流通・加工・貯蔵施設など         |
| 環境基盤       | 森林、自然公園、リサイクル施設、廃棄物処理施設、家畜ふん尿処理施設など |
| 観光基盤       | 休憩施設、案内表示、自然体験型レクリエーション施設など         |
| 高度情報通信基盤   | 光ファイバ網、防災情報や交通情報を提供するシステムなど         |
| 交通基盤       | 道路、空港、港湾、鉄道など                       |
| 国土保全基盤     | 治山・治水、海岸保全、砂防関係施設など                 |
| 教育・文化基盤    | 学校、文化施設など                           |